

二中プライド

大丈夫 自分を信じよう

小平第二中学校便り 2月号
令和5年2月13日発行
小平市立小平第二中学校
文責 校長 吉田 功

学校公式
ホームページ



雨垂れ石を穿つ

校長 吉田 功

2月もあっという間に中旬になりました。3年生は、都立及び私立高校の推薦入試、私立高校の一般入試を終え、これから最大のヤマ場である都立高校一次学力検査を迎えます。これまで培ってきた力を出し切って志望校合格を勝ち取ってほしいものです。

さて、標題の言葉は、私の好きな故事成語の一つです。「雨垂れ」というのは、屋根や軒先からしたたり落ちる雨のしずくのことです。「石を穿つ」の「穿つ」とは、穴をあけるとか、突き抜けるという意味で、「石に穴をあける」という意味になります。つまり、軒先からぼたぼた落ちる雨のしずくのような小さなしずくでも、長い間ずっと同じところに落ち続けると、硬い石に穴をあけてしまうことがあるということです。このことから、どんなに小さな力でも、根気よく続けていればいつか大きな成果が得られるということを表しています。

私自身、周りの人たちと比べて、特段優れているというものはありません。それ故、小さなことからコツコツと取り組むこと、あきらめずに努力を続けることを大切にしてきました。ものごとが劇的に変化すれば分かりやすいですが、必ずしもそういうものばかりではありません。「雨だれ石を穿つ」の精神で、これからも努力を続けていこうと思います。



スキー移動教室の様子

3日間、天候にも恵まれ大きな事故や怪我もなく過ごすことができました。2年生にとっては昨年からの念願だったスキー教室でした。朝は早い時間の出発でしたが、遅れることなく集合し、バス車内では元気のいい点呼の音が飛び交っていました。宿舎内では時間やマナーを守り、宿舎の方へのあいさつも忘れずに行うことができました。実行委員たちの呼びかけや、各自の意識付けの成果がよく表れていました。

実習が始まると、インストラクターの先生方に連れられてグレンデで練習に精を出していました。板を履いて歩いたり、倒れてしまった時の起き上がり方を学んだり、一步一步着実に成長していく姿が素晴らしかったです。

2日目以降は多くの生徒がコツを掴んだようで、あっという間にすいすいと滑れるようになっていました。3日目は自分たちの思うとおりに、楽しそうに勢いよく雪面を駆け抜けていました。実習以外にも、部屋での過ごし方、荷物の整頓など多くのことを学んだ3日間でした。【2学年担任 福田 一透】



2年生に引き続き1月26日から28日の3日間、菅平高原に行きました。準備では、実行委員会を何度も開催し、宿舎のルールや、各係の仕事内容などを検討し、全体に下ろしていました。実行委員のメンバーは組織的な活動を校外学習で身に付けていたこともあり、堂々と学年を引っ張ってくれました。

迎えた当日は、朝から寒気が押し寄せ、菅平も記録的な寒さとなりました。到着してからはおひさまも顔を出し、絶好のスキー日和となりました。

グレンデに出ず基本練習を繰り返した初日、リフトに乗って山に上がり悪戦苦闘しながらも列になって降りた2日目、吹雪という悪天候の中でももう転ぶことなく降りてきた3日目と、3日間通しての上達ぶりが見られました。また雪国の厳しさも体感できたようでした。生活では、初めての宿泊ということもあり、少し浮足立っていたところもあったようですが、それでも、時間を守ることもしっかり意識し、目標を達成できた3日間でした。【1学年主任 遠藤 顕宏】

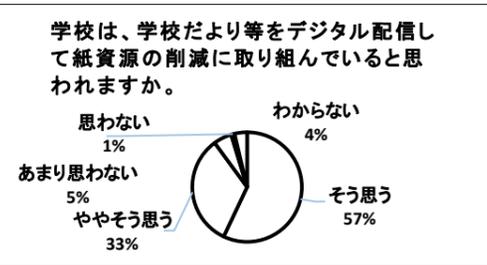
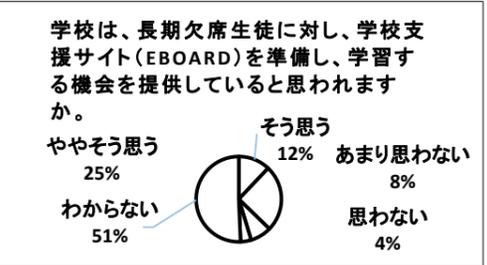
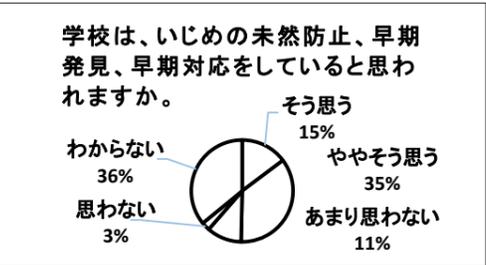
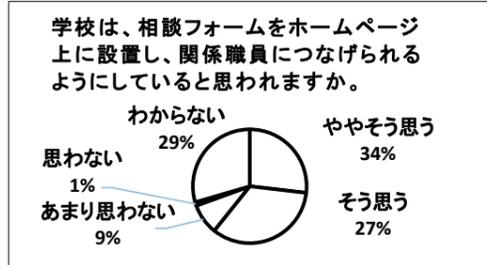
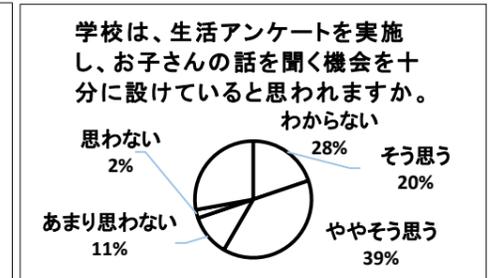
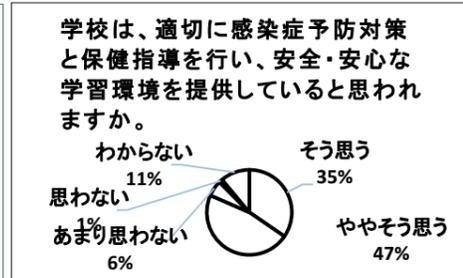
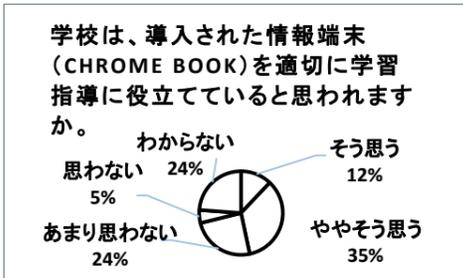
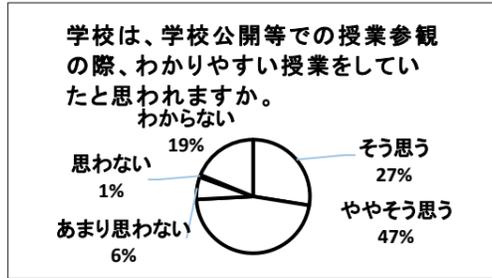
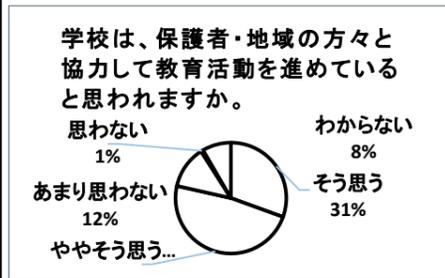


後期学校評価集計結果について

令和4年度小平市立小平第二中学校後期学校評価へのたくさんのご意見、ありがとうございました。結果はグラフをご覧ください。中でも、「保護者・地域の方々と協力して教育活動を進めている」「感染症予防対策と保健指導を行っている」「デジタル配信によって紙資源の削減に取り組んでいる」の項目に関しては、肯定的な評価を多くいただきました。今年度は特に「開かれた学校」を意識し、メールやホームページを利用して情報提供を行った結果だと思っています。

一方、「情報端末（Chromebook）を学習指導に役立っている」「長期欠席生徒への学校支援サイト（E-board）を活用した学習の機会提供」の項目に関しては、肯定的な評価が少ない、または「わからない」の評価をいただきました。情報端末やサイトの利用に関しては、これからの学校教育の大きな課題となっており、本校でも研究主題として取り上げております。今後はその成果を生徒や保護者の皆様に還元できるよう、努力してまいります。

また、グラフに表れていない部分では、自由意見欄にも多くのご意見をいただきました。一つ一つ丁寧に検討し、今後の教育活動に活かしてまいります。貴重なご意見ありがとうございました。そして、来年度以降も積極的なご意見をお待ちしております。
【教務担当 高橋 克彰】



部活動を目的とした越境通学について

副校長 西 伸一郎

小平市立中学校では、部活動に参加もしくは在籍するために指定した通学区域以外から通学すること（越境通学）を一切認めません。教育委員会が住所地に居住していないと判断した場合は、直ちに転校となりますので、ご注意ください。

- ①虚偽の住民登録は、住民基本台帳法違反になりますので行わないでください。
- ②教育委員会が、住所地に居住実態がないと判断した場合は、直ちに転校となります。
 - ・学校及び教育委員会が予告なく不定期に居住調査をする場合があります。
- ③住所地以外から通学し事故等にあった際に保険対象外となる場合があります。
- ④中学生が区域外就学を申請する場合、審査基準及び下記を遵守してください。
 - ・区域外就学の承諾にあたっては、通学に関して保護者が責任を持つとともに、通学の安全等を考慮して隣接市への転出で、かつ通学時間が概ね 40 分以内となります。（中学校 3 年生は隣接市または隣接市以外への転出で概ね 60 分以内）
 - ・通学方法は、徒歩または公共交通機関（電車・バス）の利用に限ります。

詳細は小平市教育委員会リンクをご覧ください
https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/files/25309/025309/att_0000008.pdf

体育館の空調工事について

授業や部活動で使用する体育館ですが、学校設備使用申請書を提出して体育館を使用している団体も含めて、2月4日（土）から2月24日（金）まで体育館の使用を停止しています。ご協力お願いいたします。

理由は、体育館に空調を設置するためです。屋外の工事も含めると今後の状況にもよりますが、6月頃を予定しています。授業や部活動、非常時には避難所としても使用する体育館が、快適に使えるようになるといいですね。 【副校長 西 伸一郎】

給食が変わりました

2月1日から新しい学校給食センターから給食が届いています。お弁当形式の給食とは違って、暖かいものが提供されますね。

